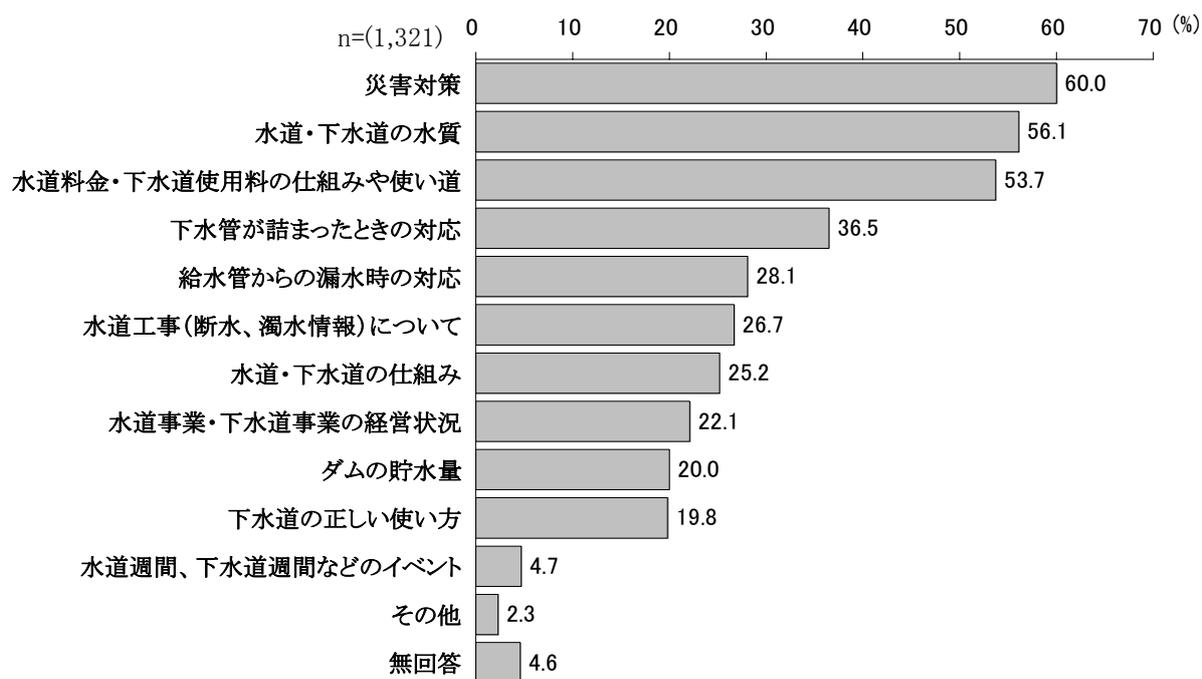


## 7. 水道・下水道の広報について

### (1) 水道について知りたい情報

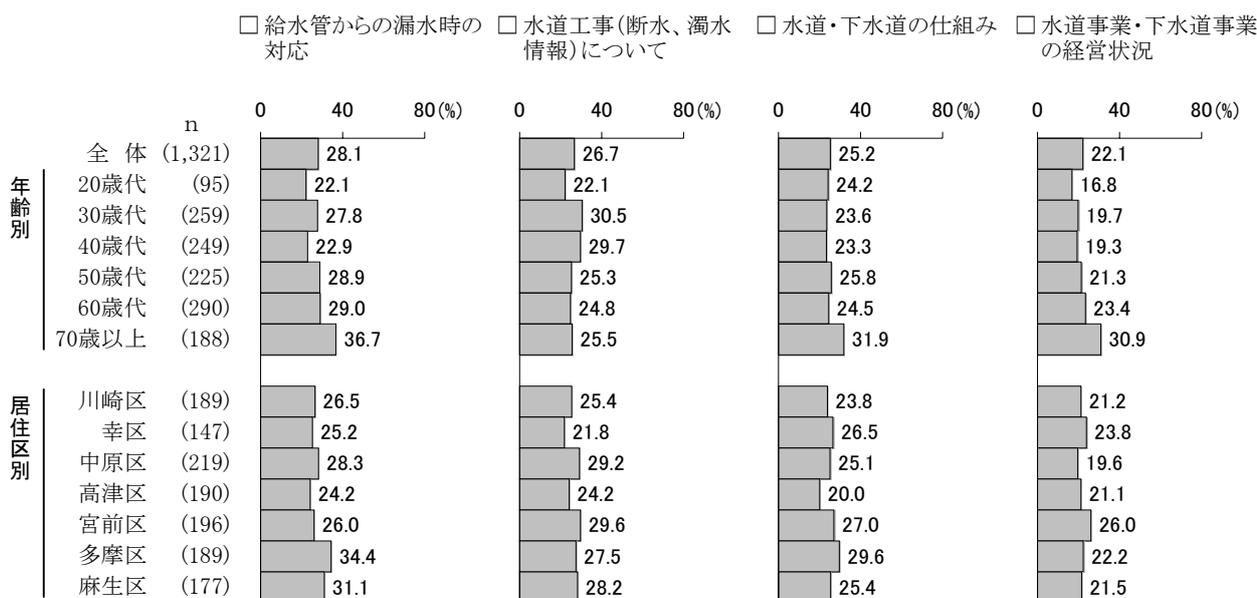
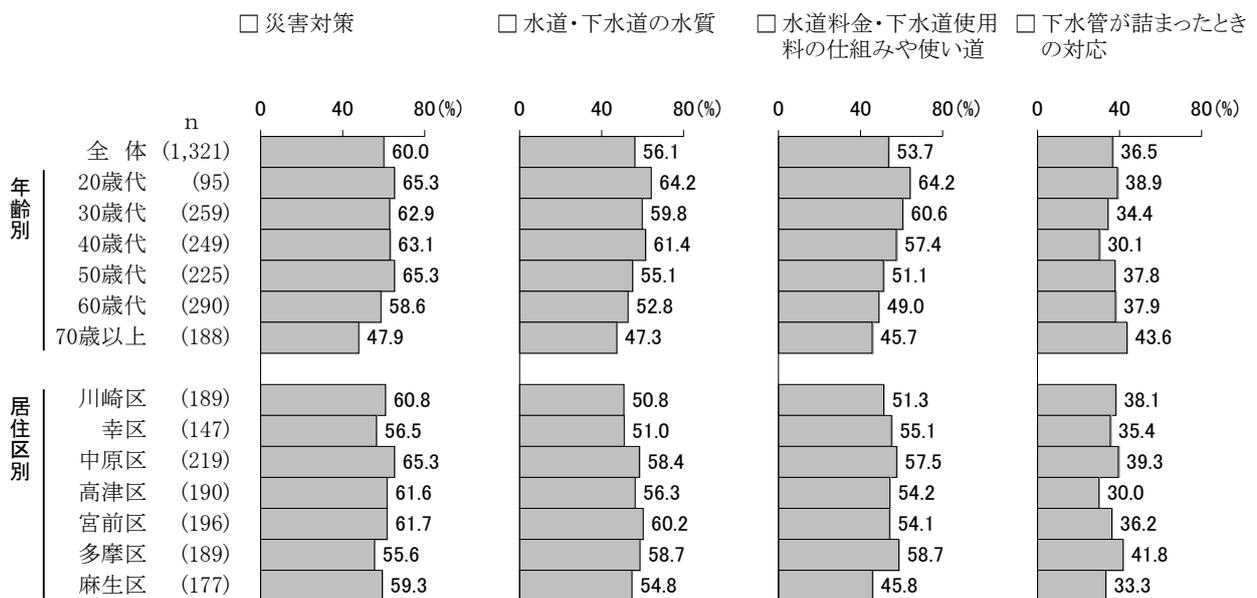
◇「災害対策」「水道・下水道の水質」「水道料金・下水道使用料の仕組みや使い道」の割合が高い

問15 あなたは、川崎市の水道・下水道に関する情報について、どのようなことを知りたいですか。(〇はいくつでも)



水道について知りたい情報は、「災害対策」の割合が60.0%で最も高く、以下、「水道・下水道の水質」(56.1%)、「水道料金・下水道使用料の仕組みや使い道」(53.7%)、「下水管が詰まったときの対応」(36.5%)、「給水管からの漏水時の対応」(28.1%)、「水道工事(断水、濁水情報)について」(26.7%)、「水道・下水道の仕組み」(25.2%)、「水道事業・下水道事業の経営状況」(22.1%)の順となっている。

○年齢別／居住区別 水道について知りたい情報（上位8位）



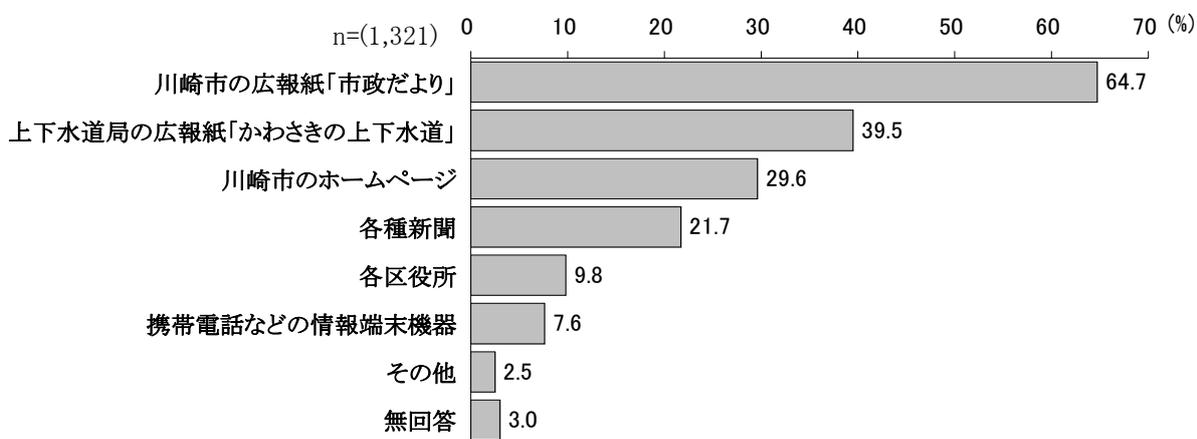
年齢別にみると、「災害対策」「水道・下水道の水質」「水道料金・下水道使用料の仕組みや使い道」は70歳以上でやや低くなっている。

居住区別にみると、「災害対策」は中原区、「水道・下水道の水質」は宮前区、「水道料金・下水道使用料の仕組みや使い道」は多摩区がほかの区に比べ高くなっている。

(2) 水道情報の望ましい伝達手段

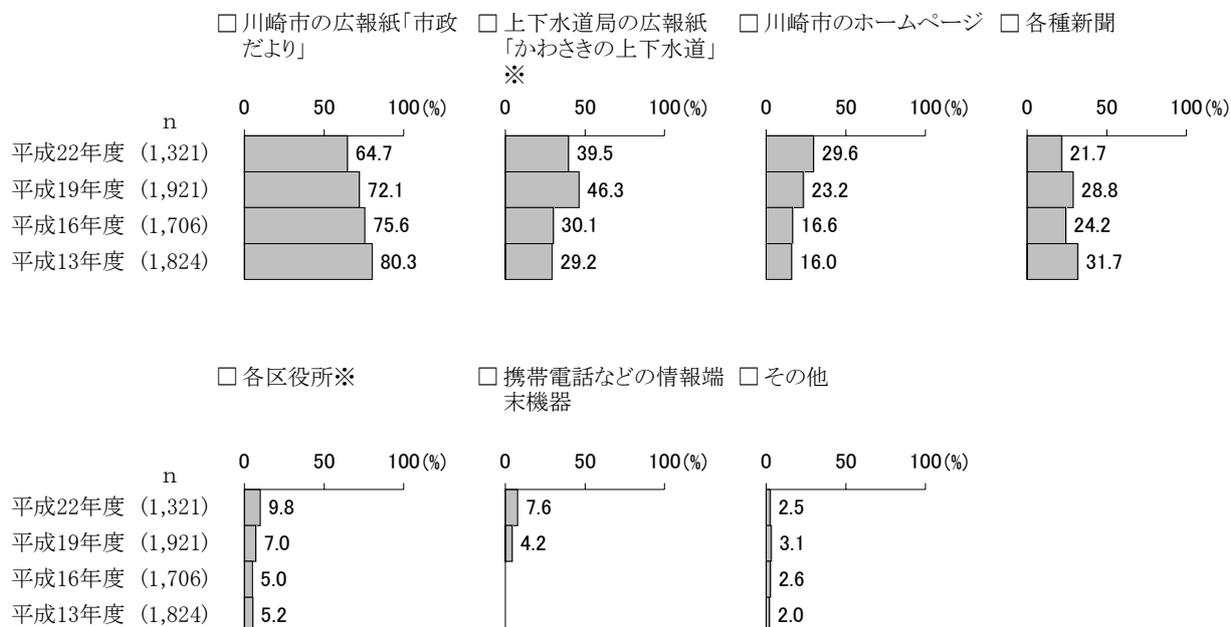
◇「川崎市の広報紙「市政だより」」が6割台半ば

問16 あなたは、水道・下水道に関する情報を、どのような方法で知らせてほしいと思いますか。○はいくつでも



水道情報の望ましい伝達手段は、「川崎市の広報紙「市政だより」」の割合が64.7%で最も高く、以下、「上下水道局の広報紙「かわさきの上下水道」」(39.5%)、「川崎市のホームページ」(29.6%)、「各種新聞」(21.7%)、「各区役所」(9.8%)の順となっている。

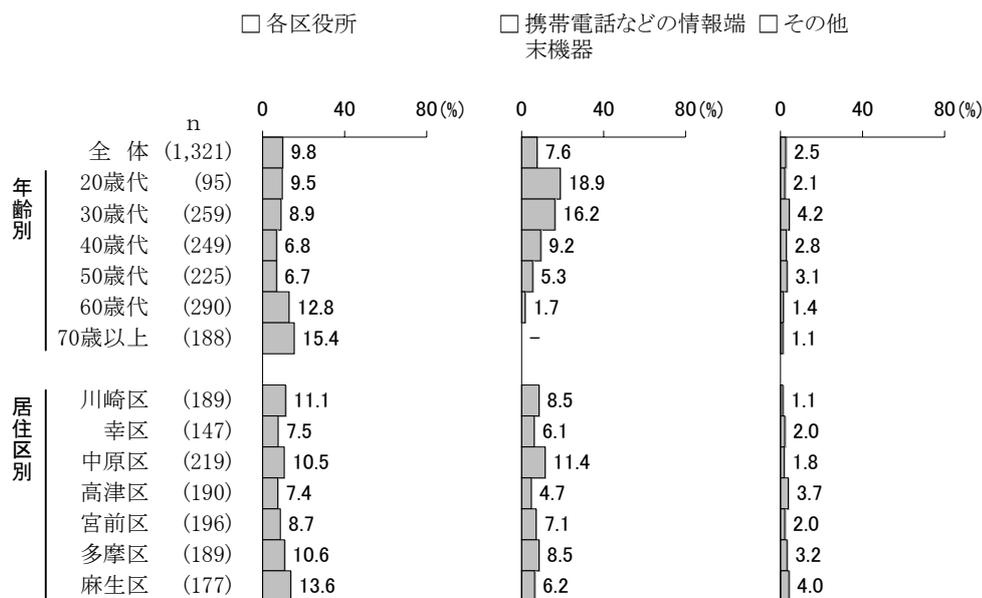
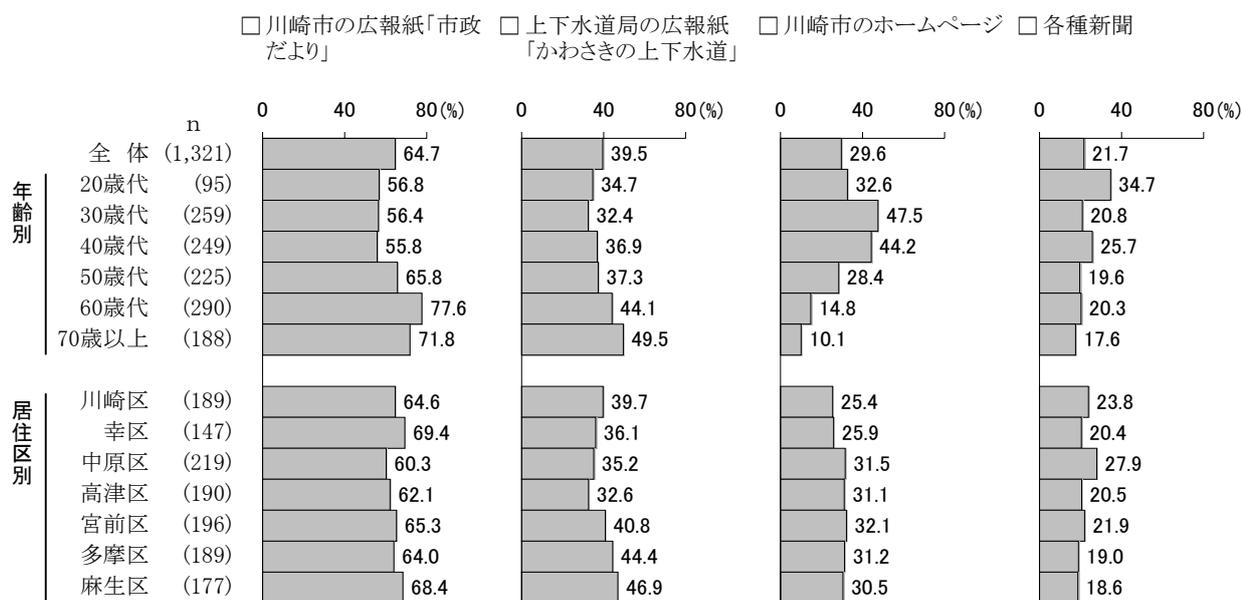
【経年比較】



※平成19年度以前は「水道局の広報紙「かわさきの水道」」、「各区の事業所窓口」

経年で比較すると、「川崎市の広報紙「市政だより」」「上下水道局の広報紙「かわさきの上下水道」」「各種新聞」が減少し、「川崎市のホームページ」「各区役所」「携帯電話などの情報端末機器」が増加している。

○年齢別／居住区別 水道情報の望ましい伝達手段



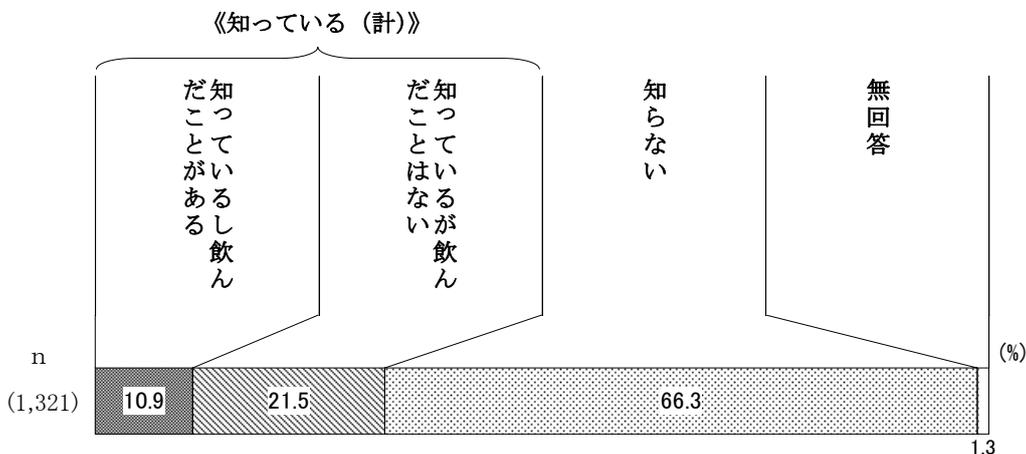
年齢別にみると、「川崎市の広報紙「市政だより」」「上下水道局の広報紙「かわさきの上下水道」」は60歳代以上で高く、「川崎市のホームページ」は20歳代から40歳代で高くなっている。

居住区別にみると、「川崎市の広報紙「市政だより」」は幸区、「上下水道局の広報紙「かわさきの上下水道」」は麻生区がほかの区に比べ高くなっている。

(3) 「生田の天然水 恵水」の認知度

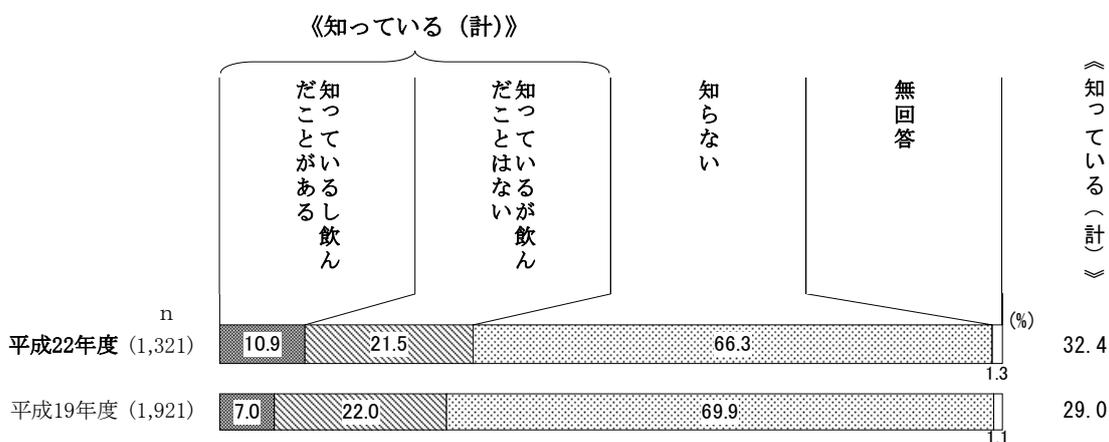
◇ 「知らない」が6割台半ば

問17 あなたは、上下水道局で製造している災害用ペットボトル水「生田の天然水 恵水（めぐみ）」をご存知ですか。（○は1つだけ）



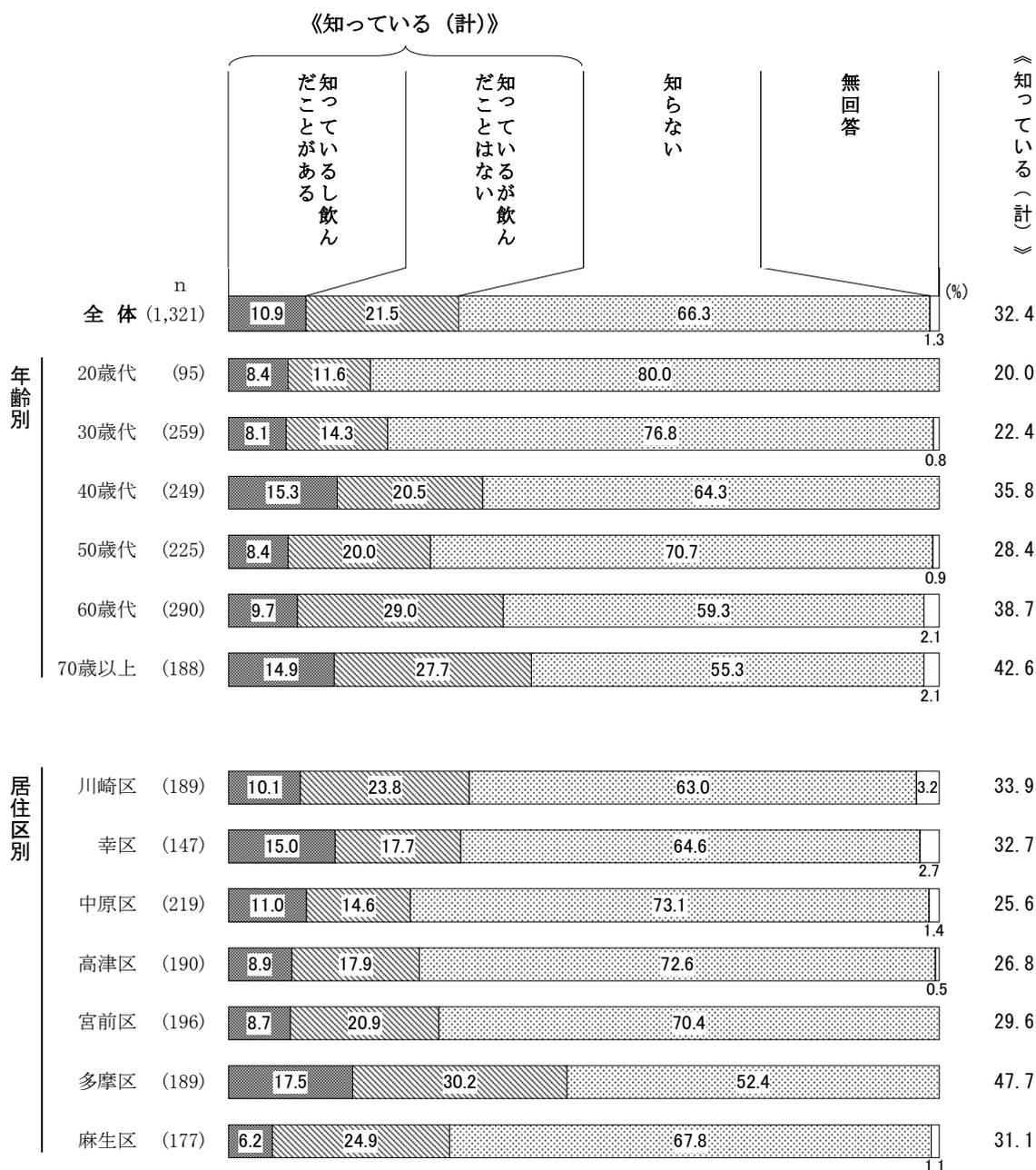
「生田の天然水恵水」の認知度は、「知っているし飲んだことがある」（10.9%）、「知っているが飲んだことはない」（21.5%）、「知らない」（66.3%）となっている。

【経年比較】



経年で比較すると、「知っているし飲んだことがある」が3.9ポイント増加し、「知らない」が3.6ポイント減少している。

○年齢別／居住区別 「生田の天然水 恵水」の認知度



年齢別にみると、概ね年齢が高くなるほど《知っている（計）》の割合が高くなっているが、「知っているし飲んだことがある」に限ると40歳代が最も高い。

居住区別にみると、《知っている（計）》の割合は、多摩区で5割弱と特に高くなっている。